

ほっかいどう 企業ファイル

④



内池秀光社長

室蘭や伊達などの西胆振地域を中心に、札幌や苫小牧など道内各地で省エネ住宅建築を手掛ける。3月に一般財団法人日本地域開発センター(東京)が主催し、省エネ住宅のトッププランナ

住まいのウチイケ

▷本社	室蘭市八丁平5の44の5
▷事業所	苫小牧に支店
▷設立	2001年
▷事業内容	省エネ住宅建設販売、リフォームなど
▷売上高	11億9990万円(19年6月期)
▷従業員数	社員25人
▷採用	3人(2019年4月実績)

省エネ特化の住宅に力

1を表彰する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2018」で大賞に選ばれた。1級建築士の資格を持つ内池秀光社長(46)は「外見だけでなく、機能性に優れた住宅が必要だ」と話す。

父親が社長を務めていた内池建設(室蘭)の下請け会社を経営していたが、2001年に現会社を設立し、省エネに特化した新築住宅建設に本腰を入れ始めた。「優秀な住宅性能を持ち、数年後も改修が必要ないことが顧客にとって大切」という理念を掲げた。

建材大量仕入れ

人気は高断熱・高气密の「エコハウススタンダード」と呼ばれる標準仕様モデル。延べ床面積約115平方メートルで平均2300万円。防音性に優れ、暖気を逃さないトリプルガラスや2倍

太陽光パネルなどを標準装備した「エコハウスゼロ」の住宅



の厚さの断熱材を使用し、光熱費を抑えられる構造にした。ガラスや断熱材など高性能の建材は、大量に仕入れており、安い価格で発注できるという。

断熱・気密性をさらに高め、太陽光パネルを標準装備した「エコハウスゼロ」にも力を入れる。同社によると、年間光熱費が約40万

円の一般的な仕様の住宅に比べると、同じ間取りで同社の「エコハウススタンダード」だと約25万円に抑えられ、「エコハウスゼロ」は売電で約2万円の利益が出るという。

節約志向追い風

東京商工リサーチによると、室蘭や登別など西胆振地区では、18年度の建築棟数は36棟で1位。17年度の31棟、16年度の33棟から数を増やしている。近年、顧客の節約志向が高まり、省エネ住宅への関心が高まってきているのも追い風になっている。

今後は自社のノウハウを提供するフランチャイズ展開を開始し、道内の工務店などに省エネ住宅の設計方法を広めていく予定。昨年の全域停電のような事態に備え、蓄電池を設置した住宅建設にも取り組んでいく。

(高野裕美)

◇ 次回は「ムラタ」(札幌)の予定です。